YANE やねノート

地震に強い家って？

家の耐震化をお考えの方、必見！

問題です。地震対策に有効な耐震補強は？

A 瓦屋根を**軽い屋根材**に葺き替え

or

B 瓦屋根はそのままで部分的に**壁を補強**

答えB

部分的に壁を補強

耐震補強には第一に耐震診断に基づいた**“壁の補強”**が効果的です。つまり、地震に対しては“屋根材が何か”よりも**“建物自体の強さ”**がより重要なのです。**耐震性がしっかり確保されている住宅は瓦屋根でも地震に耐えられます。**

地震

上記のことは耐震シミュレーションソフト「wallstat（ウォールスタット）」で検証済み！

実際の動画を見てみよう！

要チェック！

屋根を軽くしただけでは倒壊の可能性あり！瓦屋根だから地震に弱いというのは**間違い**です。

耐震シミュレーションソフト「wallstat」って？
木造住宅の地震時の損傷状況や倒壊過程をシミュレートできる。振動台実験との比較・検証により、その精度の信頼性が高い。

耐震補強のコスト比較

① 耐震性に不安のある住宅

一般耐震診断に基づく耐震補強

② **277万** ①の屋根を軽量化し、耐震補強 ＞ ③ **198万** ①（瓦屋根）のまま耐震補強

結論 同じ耐震性を確保するのであれば瓦のままの方がコストを抑えることができます！

その差 **79万円**

※上記のコスト比較は、2階建ての標準的なモデルプランで試算。
①は、一般耐震診断による耐震評点0.51。②及び③は、一応倒壊しないと判断される評点1.0以上になるように、評点1.11まで補強。耐震補強には構造用合板9mm（1ヶ所18万円想定）を使用。②は1階に8ヶ所設置し、金属板へ葺き替え、③は1階に9ヶ所、2階に2ヶ所設置。足場代・瓦撤去費を含めた総額での比較。石州瓦工業組合調べ。

屋根には、耐久性・トータルコスト・断熱性・快適性など、総合力の高い“石州瓦”がぴったりです！

屋根のことならまずは、石州瓦なんでも相談コール！

☎0855-52-5605

受付時間（平日のみ）AM 8:00～PM 5:00

防災瓦で
安心・安全!

風に強い石州瓦。その理由

瓦同士ががっちりと組み合う構造だから強い!

風への強さは実証済み!

石州瓦メーカーでは耐風性能を測る試験を数多く実施し、建築基準法が定める耐風性能基準を十分に満たしていることを実証しています。

耐風圧力性能試験（島根県産業技術センター）

台風の通過が多い九州地方で長年厚い信頼をいただいてきた理由がココにあります。

Question

台風の時に飛んできたもので瓦が壊れたりの心配はないの？

A. 石州瓦は衝撃にも強い！

石州瓦は、他産地の瓦より高温（1200度以上）で焼き締められ、瓦内部の分子が**互いにがっちりと組み合っている**ため、業界随一の強度を実現しています。

家をしっかり守ってくれる、
屋根はやっぱり石州瓦！

瓦屋根について気になることは石州瓦工業組合にお気軽にご相談ください

名品は永遠
石州瓦工業組合
〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ405
TEL 0855-52-5605　FAX 0855-52-0766
屋根の学校 検索
http://www.sekisyu-kawara.jp/

H29.11.4000